

令和3年度

峡南地区中学校新人体育大会 実施要項

2021. 10. 7～



令和3年度 峡南地区 中学校新人体育大会開催要項

1. 開催の趣旨

中学校教育の一環として、広くスポーツ実践の機会を与え、技能の向上と気力の充実を図り、心身の健全な育成と信義と友情を培い、中学校生活を豊かにしようとするものである。

2. 大会の性格

峡南地域の中学校を対象にして、種目ごとに実施する教育内体育行事（競技大会）であり、その企画・運営は、各種団体の協力を得て、小中学校体育連盟峡南支部の各専門部が中心に行う。

3. 主催・主管

主催は、峡南教育研究協議会および小中学校体育連盟峡南支部

主管は、小中学校体育連盟峡南支部各専門部

4. 大会役員

大会委員長	峡南教育研究協議会会長	岸本貴志	(市川小学校)
大会副委員長	峡南教育研究協議会副会長	上田寛二	(六郷小学校)
//		岩井ゆかり	(市川南中学校)
//		平岩史行	(増穂小学校)
参 与	峡南地域各小中学校校長		
運営委員長	小中学校体育連盟峡南支部 支部長	小林達也	(増穂中学校)
運営副委員長	小中学校体育連盟峡南支部 副支部長	河西弘三	(市川中学校)
//	小中学校体育連盟峡南支部 中学校部長	深澤宏彰	(増穂中学校)
//	小中学校体育連盟峡南支部 小学校部長	前野孝雄	(増穂小学校)
運営責任者	各専門部長		
運営委員	各専門部長・部員・会場責任者		
席 務	小中学校体育連盟峡南支部 理事長	河野直人	(増穂中学校)
会 計	小中学校体育連盟峡南支部 会 計	遠藤浩正	(南部中学校)

5. 開催期日 令和3年10月7日(木)、9日(土)
予備日8日(金)、10日(日)

6. 競技方法

学校対抗競技とし、各種目別競技細則によって実施する。

7. 参加選手資格

下記の項をすべて満たした者による。

- ・ 峡南地域の中学校生徒で、学校長が出場を承認した者。また、合同チームの大会参加については、「山梨県小中学校体育連盟主催大会合同チームによる大会参加規定」により、参加を認められたチームであること。
- ・ 必要に応じ健康診断を受け、学校長から出場を許可された者。
- ・ 各校に該当の部があること。(顧問教師・部活動指導員がいること)
- ・ 当該校の教職員・部活動指導員の引率があること。
- ・ 大会参加に関わり、「新型コロナウイルス感染拡大防止ガイドライン 改訂版」に示す各項目を遵

守するとともに、保護者の承諾を得た者。

8. 監督・コーチ

- ・監督・コーチは必ず当該校の教職員あるいは部活動指導員であること。
- ・外部コーチに関しては、各専門部の規定による。ただし、県小中学校体育連盟が定める「外部指導者の資格認定の条件」を十分考慮すること。
- ・外部コーチがベンチに入る場合には、必ず当該校の教職員が伴うこと。

9. 会場・会場長・会場責任者及び救護担当

令和3年度新人体育大会役員配置

種目	会場責任者		会場	会場長1日目	会場長2日目	救護1日目		救護2日目
軟式野球	串松裕貴 市川中		富沢野球場	上田真司 市川中学校長	望月和彦 南部中学校長	佐野舞 南部中		佐野舞 南部中
バスケットボール	山下茉莉子 増穂中		ifセンター体育館	(AM)仙洞田和男 三珠中学校長	(PM)小林達也 増穂中学校長	早川誠子 市川南中	高井君江 市川中	
バレーボール	塩澤 翼 市川中	男子	市川中体育館	望月和彦 南部中学校長		高井君江 市川中		
	依田千央 六郷中	女子	六郷中体育館	深澤裕治 六郷中学校長	上田真司 市川中学校長	佐久間麗子 六郷中		兩宮恭恵 増穂中
卓球	神田竜太 増穂中		三珠中体育館	丹沢伸也 市川南中学校長		一瀬美和 三珠中		
ソフトテニス	深澤歩未 増穂中	男子	利根川公園	池田賢二 早川中学校長	三澤明生 鯉沢中学校長	望月智恵 早川中		秋山智子 鯉沢中
	古屋亮太 増穂中	女子	身延中テニスコート	今村弘樹 身延中学校長	深澤裕治 六郷中学校長	望月香絵美 身延中		高井君江 市川中
剣道	米山 卓 増穂中		富士川町ふれあい 広域体育館	小林達也 増穂中学校長		兩宮恭恵 増穂中		
柔道	網野永一 身延中		身延地区武道館	今村弘樹 身延中学校長		望月香絵美 身延中		
バドミントン	佐野文寛 身延中		鯉沢中体育館	三澤明生 鯉沢中学校長		秋山智子 鯉沢中		
弓道	平林祐樹 増穂中		殿原スポーツ公園	小林達也 増穂中学校長		兩宮恭恵 増穂中		

*各専門部長は、会場長と連絡を取り、開会式でのあいさつを依頼する。また、救護担当の養護教諭とも連絡を取り協力を依頼する。派遣依頼文書は、事務局より各中学校長宛に発送する。

10. 表彰

- ・各種目とも原則として、団体・個人の1～3位について表彰する。

1 1. 申込締切 各専門部による。

1 2. その他

(1) 大会本部・・・増穂中学校 TEL 0556-22-2195 FAX 0556-22-8448
Eメール kawano-rpcb@es-jhs.kai.ed.jp (河野直人)
支部理事長 携帯電話 080-5473-7230

(2) 運営について

下記の要領で開閉会式を各会場ごとに専門部長が中心になって運営する。

開会式

①はじめのことは ②優勝旗(杯)返還 ③会場長あいさつ ④競技上の注意
⑤諸連絡(会場使用上の注意等) ⑥救護担当の紹介 ⑦おわりのことは

閉会式

①はじめのことは ②成績発表 ③表彰 ④講評 ⑤おわりのことは

今年度の開閉会式の実施可否については専門部の判断による。実施する場合は各校代表者のみの参加とし、密にならない工夫、マスクの着用等を徹底すること。実施しない場合は会場長、救護担当を含め、専門部内での確認事項を周知するよう工夫し、感染防止対策等を確認すること。

(3) 雨天の場合について

☆初日が雨天の場合は総ての種目を延期する。

☆予備日も雨天の場合は、実施可能な種目(屋内種目)のみ実施する。

☆開催日、予備日で実施できない場合は、専門部ごとに峡南教育研究協議会会長、支部長、理事長と連絡を取り合いながら日程を決め実施する。

☆雨天延期の判断については、1日目は午前5時30分に正副支部長、理事長および軟式野球、ソフトテニスの専門部長で行い、理事長より各校の体育主任に連絡をする。2日目は専門部長が行い、延期する場合は参加各校に連絡をする。

ただし、実施する場合は連絡をしない。(可能な限り実施の有無をメール配信する)

☆大会期間中で実施できない場合は、専門部ごとに峡南教育研究協議会会長、支部長、理事長と連絡を取り合いながら日程を決め実施する。

(4) 感染予防対策について

☆各会場においては、感染防止対策として各会場で示されている感染拡大防止ガイドライン及び、山梨県小中体連から示された「新型コロナウイルス感染症拡大防止ガイドライン 改訂版」及び「衛生管理マニュアル」、「峡南地区新人体育大会開催・実施時の感染防止策チェックリスト」に沿って、感染拡大防止に努めること。

☆各会場の使用については、専門部で確認されたことを厳守し、会場を使用するすべての者が感染防止に努めること。

☆参加生徒は保護者の承諾を得るとともに、事前に健康チェックを受け、学校長が許可した生徒が参加できる。会場入りする全ての生徒を対象とする。

☆感染防止対策として会場の密を避けるため、保護者を含めた観客の入場は不可とする。

☆会場入りする全ての生徒および大会関係者(教員・部活動指導員等)は、次の書類を当日大会運営責任者に提出すること。大会運営責任者は大会終了後、事務局に書類を提出すること。

①保護者向け生徒参加同意書（生徒対象） ②健康チェックシート（大会関係者）

(5) その他

☆支部大会で県大会の出場権を得たチームは、県大会の申し込み期日を厳守すること。

☆各会場の使用については、美化に心がけ最終的に専門部で確認をすること。

☆各専門部で購入物品がある場合は、会計 遠藤浩正先生（南部中）と連絡を取りながら購入すること。

☆救護に必要な物品は、専門部長が救護担当と連絡を取り必要なものは購入すること。代金は、後日領収書と引き替えて会計担当から受け取るようにする。

☆各専門部で外部の審判員を要請する場合は、事前に所属長および本人宛に文書をもって依頼すること。

☆会場責任者は、会場にAEDがあるかどうかを確認し、無い場合は救護担当と相談して手配すること。

☆危機管理についての対策を講じ、不測の事態に対応できるように周知徹底をはかること。

事故等がおきた場合には、速やかに大会本部へ状況を報告すること。

☆各会場においては施設に見合わせた感染防止措置を必要に応じて講ずるようにすること。

☆専門部ごと、会場におけるコロナ対策に関わる試合方式（選手待機場所・応援方法・ミーティング・スタンドの使用方法等）について確認し、円滑な運営に努めること。

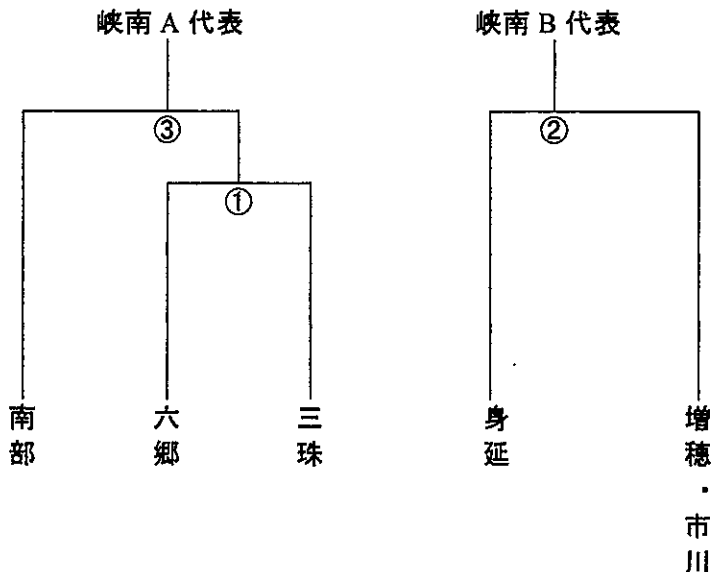
☆各専門部長は、大会実績報告書を作成し、中学校部長の深澤宏彰先生（増穂中）へ提出をすること。氏名、学校名に間違いがないよう注意すること。（最終 10月15日までにメール提出）

令和3年度 峡南地区新人体育大会(野球の部)実施要項

- 1 主催 峡南教育研究協議会
小中学校体育連盟峡南支部
- 2 主管 小中体連峡南支部野球専門部
- 3 日時 令和3年10月7日(木)・9日(土)
予備日8日(金)・10日(日)
【1日目】7:00～14:00
【2日目】7:00～12:00
- 4 場所 富沢球場
- 5 試合方法 小中体連野球大会規定による
- 6 大会役員 会場長 【1日目】上田真司 校長:(市川中)
【2日目】望月和彦 校長:(南部中)
救護担当 【1日目】佐野 舞 先生:(南部中)
【2日目】佐野 舞 先生:(南部中)
会場責任者 串松裕貴(専門部長), 堀内雅仁(専門副部長)

- 7 参加資格 下記の項をすべて満たした者による。
 - ・峡南地域の中学校生徒で、学校長が出場を承認した者。また、合同チームの参加については、「山梨県小中学校体育連盟主催大会合同チームによる参加規定」により、参加を認められたチームであること。
 - ・必要に応じ健康診断を受け、学校長から出場を許可された者。
 - ・各校に該当部があること。(顧問教師がいること)
 - ・当該校の教職員の引率があること。

8 組み合わせ



9 試合時程

- 【1日目】① 9:00(試合終了11:00 チーム集合 7:00～7:10)
 ② 12:00(試合終了14:00 チーム集合 10:30～10:40)
 【2日目】③ 9:00(試合終了11:00 チーム集合 7:00～7:10)
 ※時程は、試合の進行状況などで多少前後することがある。

10 大会規定

- ①番号の若いチームが一塁側とする。
- ②試合球は、「ケンコウボール M 号」とする。
- ③ボールボーイは両チームで行う。得点係は本部の先生方で行う。
- ④5回以降7点差以上の場合は、コールドゲームとする。代表決定戦にもコールドゲームを適用する。
- ⑤7回で決しない場合は、ただちに特別延長で決するまで行う。(天候等状況により、この限りでないこともある)
- ⑥試合成立を5回とし、試合時間が1時間40分を超えた場合、新しいイニングに入らない。その際同点の場合は直ちに特別延長をおこなう。また試合時間上限を2時間とし、5回試合成立していなくても、2時間を超えて新しいイニングに入らない。
- ⑦危険防止のため、打者・走者・次打者・ランナーコーチはヘルメットを着用する。
また、キャッチャーは、ファールカップは必ず着用する。
- ⑧シートノックは各チーム7分とする。
(2分前に予告。ただし、天候状況等によりこの限りではないこともある。)
- ⑨シートノックの補助生徒はヘルメット着用とする。
- ⑩次の試合の先発バッテリーは、10時半以降、ブルペンで投球練習ができる。
- ⑪一人の投手につき1日の投球数100球以内とし、試合中に規定投球数に達した場合はその打者が打撃を完了するまで投球できる。
- ⑫次の試合のチームは、第1試合終了後に、主将がメンバー表4通(自チームのメンバー表含む)を持って本部に集合する。(注意事項の伝達、先攻後攻の決定等)
- ⑬開会式は行わない。閉会式は、代表決定戦(パート決勝戦)終了後に行う。
- ⑭降雨暗黒その他の続行不可能ならしめる理由により、審判員が試合の打ち切りを命じた場合に、両チームとも5回攻撃を均等に完了するか、あるいは先攻チームが5回を終わった得点より後攻チームの4回までの得点が多い場合はコールドゲームとし、それ以前の場合は特別継続試合とする。

11 その他

○天候の判断 小中体連峡南支部支部長、理事長、野球・ソフトテニス部の専門部長で行う。
(午前5:30判断)

○会場、大会責任者 ……正副部長

○大会申し込み 別紙により大会当日までに部長に提出する。

○賞状 各パート優勝2校…学校用2枚

○朝の打ち合わせ 原則として午前8:15より会場で行う。(各校顧問1人・会場長・養護教諭)

○1日の反省 大会日程終了後、会場にて行う。(各校顧問1人必ず参加)

○会場づくり 第1試合の2チームにより行う。(7:00~)

○連絡網 副部長(増穂中) → 三珠中

↑
部長(市川中)

↓
南部中 → 六郷中 → 身延中

●各校の主顧問の先生方でまわし、主顧問の先生方は自校内の先生・生徒にまわす。

○コロナ対策として、ベンチ内の密を避け間隔を空けて座ること。適切な間隔がとれない場合は大会本部側にベンチ席を広げ間隔を空けて座るようにする。その他、「R3県総体野球の部における感染症対策ガイドライン」に従い、感染症防止対策に努める。

令和3年度 峡南地区中学校新人体育大会（バスケットボールの部）実施要項（案）

- 1 主催 峡南教育研究協議会
山梨県小中学校体育連盟峡南支部
- 2 主管 山梨県小中学校体育連盟峡南支部バスケットボール専門部
- 3 日時 令和3年10月7日（木） 開会式 8：20 試合開始 8：50 <開場 7：30>
予備日 10月8日（金） 開会式 8：20 試合開始 8：50 <開場 7：30>
- 4 会場 市川三郷生涯スポーツセンター〔ifセンター〕 市川大門1437番地1 055-272-381
- 5 大会役員
会場長 仙洞田和男（三珠中学校） 小林 達也（増穂中学校）
責任者 山下茉莉子（増穂中学校）
会場保全 保坂 伸也（南部中学校） 斎藤 和貴（増穂中学校）
競技 市瀬 俊（市川中学校）
審判 河西 弘三（市川中学校）
ＴＯ 市瀬 俊（市川中学校）
記録 守屋 里穂（市川中学校）
救護 早川 誠子（市川南中） 高井 君江（市川中）

- 6 参加資格 下記の項をすべて満たした者による
 ・ 峡南地域の中学校生徒で、学校長が出場を承認した者。また、合同チームの大会参加については、「山梨県小中学校体育連盟主催大会合同チームによる大会参加規程」により、参加を認められたチームであること。
 ・ 必要に応じ健康診断を受け、学校長から出場を許可された者。
 ・ 各校に該当の部があること。（顧問教師がいること）
 ・ 当該校の教職員または部活動指導員の引率があること。
 ・ 大会開催要項に記載されている、「大会開催・実施時の感染拡大防止がトライ」に示す項目を遵守する者。

- 7 出場人数 1チームは、学校管理者・監督・コーチ・マネージャー各1名と選手18名の合計22名以内とする。外部コーチは、支部に申請し、認証された者に限り、前述の人数に含まれる。

- 8 競技規則 現行日本バスケットボール協会競技規則とする。ゾーンディフェンス禁止とする。

- 9 競技方法 男女とも、総当たりのリーグ戦とする。

- 10 試合球 男子7号、女子6号皮革検定球

- 11 申し込み 10月7日（木）締切（大会日の監督会議まで） *2日前までにメールは送信すること

12 組合せ

	増穂	市川	南部
1	増穂	③	①
2	市川		②
3	南部		

	増穂	市川	南部
1	増穂	③	①
2	市川		②
3	南部		

13 試合日程

	試合	開始	Aコート			TO	練習コート				
			男子	増穂	対		南部	市川	女子	増穂	+
一日目	第1試合	8:50	男子	増穂	対	南部	市川	女子	増穂	+	南部
	第2試合	10:00	女子	増穂	対	南部	市川	男子	南部	+	市川
	第3試合	11:10	男子	南部	対	市川	増穂	女子	南部	+	市川
	第4試合	12:20	女子	南部	対	市川	増穂	男子	市川	+	増穂
	第5試合	13:35	男子	市川	対	増穂	南部	女子	市川	+	増穂
	第6試合	14:45	女子	市川	対	増穂	南部				

閉会式・表彰式 16:00 準備が整い次第行う

- 14 表彰 優勝：優勝旗 および 賞状 準優勝：賞状 賞状枚数＝大4枚
- 15 審判 監督・コーチ・小中体連専門部員・審判依頼者
*外部審判を依頼する場合は、一週間前には計画がかたまるように依頼と調整を行う。
- 16 開会式 8時20分より行なう。各チーム全員参加とする。8時00分より代表者会議を行う。
服装は、ユニフォームでなくともよい。(学校指定のジャージ・チームウェア可)
- 17 競技要項
- ① ベンチは、組合せ番号の若いチームがオフィシャル席に向かって右側、ゴールは前半相手ベンチ側とする。
 - ② ユニフォームは、組合せ番号の若いチーム(対戦表の左側に名前のあるチーム)が白色とする。
 - ③ メンバー表の扱いについて
前試合のハーフタイム時に、オフィシャル席および相手チームに1部提出する。
第1試合の場合は、試合開始10分前までに提出する。
事前に提出した申込書と異なる点がある場合は、代表者会議で申し出る。
 - ④ 審判は、別に定める。
 - ⑤ オフィシャルについては組み合わせ表で定めたものとする。
 - ⑥ 試合時間は、4クォーター各6分(計24分)とする。
第1と2、第3と4のインターバルは2分間。ハーフタイムは8分間とする。
第4クォーターが終了して同点の場合は、2分後に延長を行なう。
1回の延長時間は2分間で、勝敗の決するまで行なう。
(延長と延長の間は2分間。ゴールは、後半と同じとする。)
 - ⑦ 試合開始時刻は予定時刻を原則とし、予定時刻より早くすることはない。
また、前試合終了から次試合開始までは、最低10分間は確保する。
 - ⑧ ベンチ入りの人数は、22名以内とする。
 - ⑨ 個人を攻撃したり、相手を中傷するような応援はしない。
保護者等の応援も同様とする。
尚、バックボード真後ろ(中心から左右3m程度以内)での応援はしない。
 - ⑩ ベンチでの水分補給は、ストロー付きボトルかスクイズボトル形式のみとする。
 - ⑪ 勝敗数で同じチームが出た場合・・・
1) 2チーム：直接対決で勝利した方が上位の成績
2) 勝敗が同数の時は、関係チーム同士のゴールアベレージ(総得点÷総失点)で順位決定する。
 - ⑫ ヘアピンなど危険なものは身につけさせないようにする。

コロナ対策の基本方針

- ① 会場内への入場制限を行う。フロアとギャラリーで分けられるが、ゲームを除き他チーム交わる動きを注意して計画する。
- ② 大会期間中に会場保全計画のもと、消毒や換気などの措置をとり感染拡大防止を心がける。
- ③ 各試合のチーム入れ替えを計画的に行い、密な状態を少なくなる工夫をする。
- ④ TO席や役員席の消毒は試合ごとに丁寧に行う。

18 準備	デジタイマー	南部中【2台一組】	打合せ会議資料 ..	専門部長
	タイマー接続コード	南部中	チーム名表示	専門部長
	24秒計	南部中	筆記用具(鉛筆等) ..	専門部長
	延長コード	市川中	審判割当	審判担当
	オフィシャルセット	市川中	コート割り振り	競技担当
	警告ホーン	市川中	勝ち上がり表	記録担当
	スコア&ファウルシート	TO担当	救護	会場保全
	ストップウォッチ	TO担当	清掃割り振り	会場保全

※ 学校備品等の場合には、顧問の責任で必ず許可を得てください。

- 19 注意事項
- ① 土足厳禁、上履きで下におりないこと。
 - ② ゴミ・空缶・空ビンなどは、各チームで持ち帰ること。
 - ③ 貴重品は各チームで管理すること。
- 20 その他
- ① 開会式や閉会式は簡略な方法で短時間かつ少人数な方式をとる。
 - ② 男女ともに優勝チームが、代表として県大会に出場する。
 - ③ 表彰については、全試合終了後に閉会式の中で行う。
 - ④ 7時50分から代表者会議を行なう。
 - ⑤ 会場の最終チェックを、各校代表顧問が行うと同時に確認と反省をその場でする。

令和3年度 峡南地区中学校新人体育大会（バレーボールの部） 実施要項

1. 主 催 峡南教育研究協議会
山梨県小中学校体育連盟峡南支部
2. 主 管 山梨県小中学校体育連盟峡南支部 バレーボール専門部
3. 日 時 令和3年10月7日（木）、9日（土）
午前 7時45分 集合（合同練習 8時15分～ 監督者会議 8時30分～）
午前 8時40分 開会式
午前 9時00分 試合開始
(①9:00 ②10:15 ③11:30 ④12:45)
4. 会 場 【1日目】 市川中学校体育館（男子）／ 六郷中学校体育館（女子）
【2日目】 六郷中学校体育館（女子）
5. 試合方法
【男子】 ◇ 三珠中・市川中・南部中の3チームのリーグ戦とする。
◇ 順位は勝率で決める。勝率で決まらない場合は、セット率、次に得失点率で決める。
◇ ボールはミカサのものをを用いる。

【女子】 ◇ 三珠中・市川中・六郷中・増穂中・身延中・南部中の6チームとする。
◇ 1日目には予選リーグ（Aパート3チーム・Bパート3チーム）を行い、リーグ内の順位を決定する。順位は勝率で決める。勝率で決まらない場合は、セット率、次に得失点率で決める。
◇ 2日目には、『決勝トーナメント』を行う。各リーグ1位をシーとし、2位・3位チームのたすき掛けによる1回戦を行う。決勝トーナメントでは、『3位決定戦』、『5位・6位決定戦』を行う。
◇ 県大会への出場権については、県総体の結果から、上位3チームに与えられる。
◇ ボールはモルテンのものをを用いる。

コロナ感染・熱中症対策

- ◇屋内の換気 試合中も体育館入口や窓は開けたままにし、換気に努める。日が入りまぶしいところについてはカーテン等で対応する。試合間も同様。
- ◇水分補給の確保 各セット、いずれかのチームが8点、16点に達したとき、1度水分補給及び手指消毒タイムをもうける。

6. 組み合わせについて

【男子】 市川中学校体育館（1会場1コートで実施）

◇ 試合順番は、以下のように決定する。

	A中	B中	C中
A中		3	1
B中			2
C中			

【女子1日目：予選リーグ：六郷中学校体育館（1会場2コート）で実施】

◇ 予選リーグは、ブレ大会が実施できなかったため、抽選によって以下のように編成する。

Aパート	Bパート
A中	D中
B中	E中
C中	F中

◇ 試合順番は、上記の表に従い、以下のように決定する。

Aパート（Aコート）

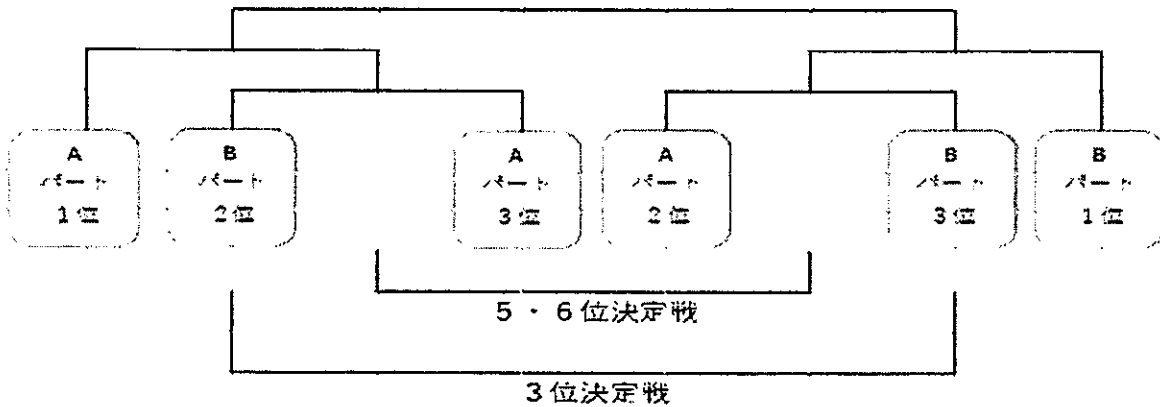
	A中	B中	C中
A中		3	1
B中			2
C中			

Bパート（Bコート）

	D中	E中	F中
D中		3	1
E中			2
F中			

【女子2日目：決勝及び順位決定トーナメント：六郷中学校体育館（1会場2コート）で実施】

決勝トーナメント



7. 大会役員

	会場	大会日	会場長	会場責任者	救護
男子	市川中学校体育館	1日目のみ	望月和彦(南部中)	塩澤 翼(市川中)	高井君江(市川中)
女子	六郷中学校体育館	1日目	深澤裕治(六郷中)	依田 千央(六郷中)	佐久間麗子(六郷中)
		2日目	上田真司(市川中)		雨宮恭恵(増穂中)

8. 参加資格 下記の項をすべて満たした者による。

- ◇ 峡南地域の中学校生徒で学校長が出場を承認した者。
また合同チームの大会参加については、「山梨県小中学校体育連盟主催大会合同チームによる大会参加規定」により、参加を認められたチームであること。
- ◇ 必要に応じ健康診断を受け、学校長から出場を許可された者。
- ◇ 各校に該当の部があること。(顧問教師がいること)
- ◇ 当該校の教職員の引率があること。

9. 新型コロナウイルス感染予防対策について

【生徒への徹底】

- ・朝、各学校で健康観察と検温の確認をする。※熱や体調不良の生徒は会場に連れてこない。
- ・マスク、タオルを必ず持ってこさせる。マスクは練習や試合以外は着用する。ただし、熱中症にならないように気をつける。
- ・試合のない生徒控え室は技術科室とする。

【練習・試合】

- ・練習に入る前にしっかり手洗いし、手指消毒を行う。また試合開始前にも手指消毒を行う。
- ・選手同士の接触は避ける。(ハイタッチや握手など)
- ・練習及び試合中はできるだけ声を出すことを抑える。(仕方ない部分もある)

【座席・応援】

- ・基本的に試合を行う生徒のみが体育館に入る。
- ・声を出しての応援はしない。
- ・保護者の入場はなし。

【その他】

- ・両コートが終わってから15分間、消毒と換気を行う。
- ・消毒については、ベンチの消毒・観戦席の消毒、用品(ラインズマンフラッグ、得点板など)の消毒を行う。

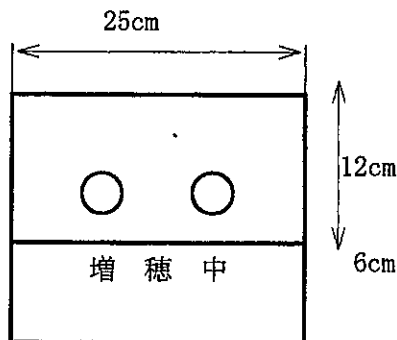
10. その他

- ◇ 賞状の枚数 [大] 5枚(男子2枚 女子3枚)

令和3年度 峡南地区中学校新人体育大会 卓球の部 実施要項

1. 主催 峡南教育研究協議会
小中学校体育連盟峡南支部
2. 主管 小中学校体育連盟峡南支部 卓球専門部
3. 日時 令和3年10月7日(木)
午前8時10分 集合 午前8時40分 開会式
午前9時 試合開始
4. 会場 三珠中学校 体育館
5. 試合方法 ◇個人戦：男子 決勝トーナメント 1回戦の敗者戦（交流戦）
：女子 3人での予選リーグ、決勝トーナメント
◇団体戦：決勝リーグ
・組合せは専門部で行ないます。
6. 大会役員 会場長 丹沢 伸也 校長先生 (市川南中学校)
会場責任者 神田 竜太 専門部長 (増穂中学校)
救護担当 一瀬 美和 養護教諭 (三珠中学校)
7. 参加資格 下記の項をすべて満たした者による。
 - ・ 峡南地域の中学校生徒で、学校長が出場を承認した者。
 - ・ 必要に応じ健康診断を受け、学校長から出場を許可された者。
 - ・ 各校に該当の部があること。（顧問教師または部活動指導員がいること）
 - ・ 当該校の教職員または部活動指導員の引率があること。
 - ・ 団体戦、個人戦とも登録選手は8名までとする。
 - ・ 団体戦のチーム編成は、4名以上であること。ただしシングルスとダブルスの重なりを認めない。（ローカルルール）
8. 競技規則 ・ 現日本卓球ルール及び細則による。

参加選手は背中にゼッケンをつけること。（下図を目安にしてください）



9. 使用球 ホワイトボール40mm
10. 審判 出場生徒
11. 申し込み 申し込み 10月4日(月) 必着
別添申込書ファイルに必要事項を入力し、**統一メール**で申し込んでください。
正式な申込書は当日持参してください。
送付先 E-Mail kanda-dxyy@es-jhs.kai.ed.jp

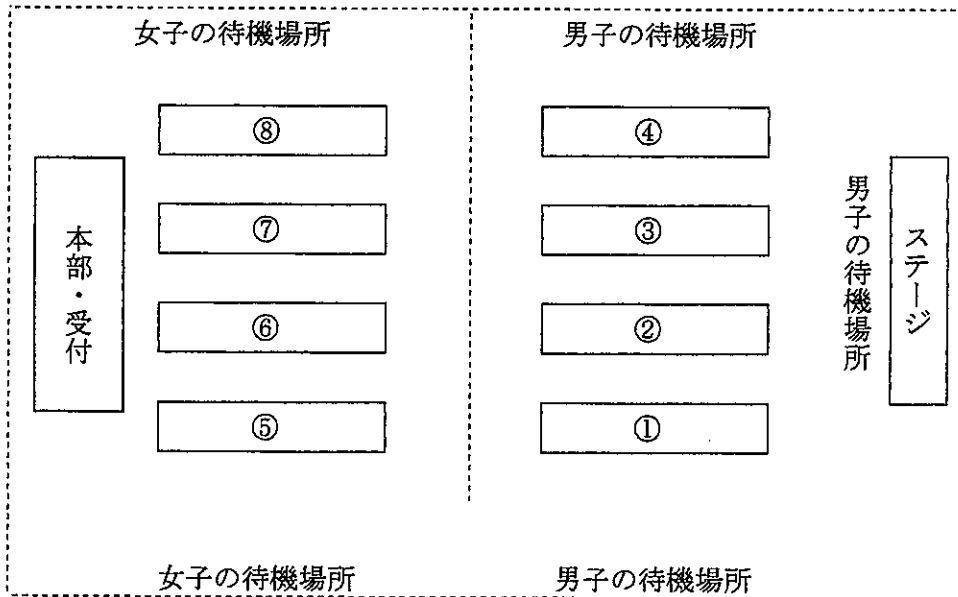
12. その他

- (1) 開会式 司会 (中・ 先生)
- ①はじめの言葉 (中・ 先生)
 - ②会場長あいさつ (中 校長先生)
 - ③諸注意 (専門部長)
 - ④養護教諭の紹介と話 (専門部長)
 - ⑤終わりの言葉 (中・ 先生)

- (2) 閉会式 (司会： 中・ 先生)
- ①はじめの言葉 (中・ 先生)
 - ②成績発表 (中・ 先生)
 - ④講評 (井上先生)
 - ⑤終わりの言葉 (中・ 先生)

(3) 運営分担 (担当にかかわらず、全顧問で協力して行う)

公式戦主任 市川南中・井上先生
 全体進行 専門部長
 記 録 増穂中・先生
 受付・待機場所監督 三珠中 泉先生・増穂中 樋口先生



- (4) 賞状の枚数
- 大 2枚
 - 小 8枚

* 諸 注 意

○参加者について

1, 2 年生の卓球部員・関係教師以外は会場に入ることはいできない。

○試合について

個人戦→団体戦の順で行う。

①個人戦（午前中実施）

- ・トーナメント形式で行う。交流試合出場選手は初戦の敗者と試合を行う。
- ・1 回戦の審判は次にその台で試合を行うものがする。2 回戦からは敗者審判で行う。
- ・敗者はボールとスコア表を本部に届け、次の試合のスコア表とボールを持って審判を行う。
- ・タイムテーブルの 2 枠の試合がすべて終わったところで体育館の換気を行う。
- ・選手は、試合の前後に手指消毒をする。

②団体戦（午後実施）

- ・4 シングルス、1 ダブルスの 5 試合の団体戦とする。
- ・別表に従ってリーグ戦を行う。
- ・相互審判で審判を行う。
- ・3 試合先取だが試合すべてを行う。
- ・2 試合終わったところで体育館の換気を行う。
- ・選手は、試合の前後に手指消毒をする。

○ルールについて

- ・サービスはオープンハンドで 16 cm 以上ボールをあげて打つこと。
- ・ネットに当たってコートに入ったサーブは何度でもやり直せる。（得点には関係ない）
- ・ラリー中にコートに当たらずオーバーした時点で、出した人の失点となる。
- ・審判は試合のはじめにサーバーとレシーバーを確認し試合の記録表に記入しておく。

○マナーについて

- ・自転車は会場校の指示された場所に駐輪すること。
- ・移動をする際は他の試合のじゃまにならないようにすること。
- ・体育館、トイレをきれいに使うこと。
- ・ゴミは、すべて持ち帰ること。
- ・感染防止の観点から、試合開始直前までマスクを着用すること。プレー中はマスクを外しても良いが、大きな声を出さないようにすること。
- ・試合開始時・終了時の選手同士の握手はしない。

○大会の準備と片付けについて

感染防止のため、準備・片づけは会場校にお願いします。

○その他確認事項

- ①待機場所は、試合会場を囲むように本部席側に女子、ステージ側に男子とする。
- ②声を出しての応援は行わず、拍手で応援すること。
- ③食事はあらかじめ指示された場所ですること。
※食事の前に手洗い、手指消毒をすること。

④大会終了後、会場校の生徒で掃除をしていただく。

⑤試合中はシャツをパンツにしまうこと。

⑥試合中、不必要な足踏みの音をさせない。

○試合の説明（事前に各校で周知しておくこと）

① タイムテーブルの見方

② 試合前は1分間のラリーを行う

③ 審判は対戦表を本部に取りに行く

④ 試合中審判は得点が6の倍数の時とマッチポイントの時に、カウンターを上にあげ周りの人に見えるようにする

○準備物

①対戦表拡大コピー男女 ②生徒配布用プリント（表タイムテーブル 裏対戦表男女）

③リーグ戦記録用紙3部 ④個人対戦表 ⑤賞状 ⑥文具セット ⑦カウンター

⑧試合球 ⑨文房具セット（鉛筆 ペン はさみ セロテープ バインダー） ⑩優勝旗

⑪カメラ ⑫除菌用アルコール（手指消毒用）・アルコールタオル（用具消毒用）

○その他

8：15 顧問会議（体育館周りの見回り含む） 8：30 会場準備

8：35 タイムテーブル配布・説明 8：40 開会式

9：00 試合開始

◎コロナウィルス感染対策の概略のまとめ

・3密を避ける。

密閉→2試合ごとに換気をする。換気扇を回す。

密接→清掃・準備を会場校に願います。試合前後の握手はしない。

密集→入場制限をする。（関係職員、選手のみ）

試合数を減らす。男子は予選リーグを行わず、決勝トーナメントのみ行う。

女子は人数が少ないので個人戦の予選リーグ後に、決勝トーナメントを行う。

・消毒→試合の前後に手指消毒をする。

・飛沫感染予防→プレー中以外はマスク着用。マスクを外しているときは大声を出さない。

令和3年度峡南地区中学校新人体育大会ソフトテニスの部実施要項

1. 主催 峡南教育研究協議会
山梨県小中学校体育連盟峡南支部
2. 主管 山梨県小中学校体育連盟峡南支部 ソフトテニス専門部
3. 日時
1日目：令和3年10月7日（木） 予備日10月8日（金）
2日目：令和3年10月9日（土） 予備日10月10日（日）
※1日目、2日目ともに、午前8時00分コート開放、監督会議は午前8時20分～。
※8時30分 開会式 試合開始：8時40分
4. 会場
1日目・2日目：利根川公園テニスコート（女子）と身延中テニスコート（男子）
5. 試合方法
日本ソフトテニス連盟規則による国際ルールで行う。
個人戦、団体戦ともに7ゲームマッチとする。1日目に個人戦、2日目に団体戦を行う。
個人戦、団体戦ともに、県新人大会の予選を兼ねる。
 - ①個人戦
*出場ペア数：各校男子6ペア、女子6ペアに、加え、昨年度1年生大会のベスト16以上のペアの実績を各校に配分する。申込みの順位は、学年に関わらず実力順とする。
男子… 増穂+1、身延+1
*試合方法
・トーナメントを行い、県新人大会出場ペアを決定する（男子9、女子6）。ただし、この中で、すでに県大会出場の権利を持っている昨年度県1年生大会のベスト16以上のペア（男子2）は試合で負けても県大会に出場することとする。
・過去の大会結果と校内順位を踏まえ、組み合わせ会議を行い、専門部員で協議する。同じ学校の一番手、二番手が決勝戦前に対戦することがないようにする。
・審判について、各コート第一試合は指定組、それ以外は敗者審判とする。また試合が全て終了した学校の顧問の先生に審判をお願いする。
 - ②団体戦
*出場チーム数：各校1チーム
*試合方法
・県新人大会出場チームを決定する（男子4、女子2）。
男子… 出場6チームを個人戦の実績をもとに3チームずつ2つに分けてリーグ戦を行う。各リーグ1位と2位によるたすき掛けで準決勝を行い、県大会出場チームを決定する。勝者で決勝戦を行う。
女子… 出場6チームを個人戦の実績をもとに3チームずつ2つに分けてリーグ戦を行う。各リーグ1位と2位によるたすき掛けで準決勝を行い、県大会出場チームを決定する。勝者で決勝戦を行う。
・団体戦の組み合わせは、個人戦の結果をもとに決定する。
※試合球は、個人戦はケンコーボール、団体戦はアカエムを使う。
6. 大会役員
会場長 1日目利根川：池田賢二校長先生（早川中学校）
1日目身延中：今村弘樹校長先生（身延中学校）
2日目利根川：三澤明生校長先生（鵜沢中学校）
2日目身延中：深澤裕治校長先生（六郷中学校）

会場責任者：利根川：深澤歩未先生（増穂中）
身延：古屋亮太先生（増穂中）
救護担当 1日目利根川：望月智恵先生（早川中学校）
1日目身延中：望月香絵美先生（身延中学校）
2日目利根川：秋山智子先生（鵜沢中学校）
2日目身延中：高井君江先生（市川中学校）

7. 参加資格 下記の項をすべて満たした者による。

- ・ 峡南地域の中学校生徒で、学校長が出場を承認した者。
- ・ 必要に応じ健康診断を受け、学校長から出場を許可された者。
- ・ 各校に該当の部があること。（顧問教師がいること）
- ・ 当概校の教職員の引率があること。

8. 試合上の諸注意

- ①ルールは国際ソフトテニス競技規則及び山梨県小中体連ソフトテニス専門部の大会出場規定、「競技上の注意」に準ずる。
- ②選手の服装は、上は半袖の公認のテニスウェア（山梨県ソフトテニス連盟中学部で販売したTシャツの着用も可）または学校指定の体育着も認める。下は膝より上の公認のパンツ・スカートまたは学校指定の短パンを着用する。
- ③シューズは、テニスシューズとする。
- ④ソックスは、カラーソックスも認める。ハイソックスは認めない。
- ⑤ネームは、県名・個人名・学校名がわかるようにつける。
- ⑥「プレーボール」前の乱打の時間は1分間設ける。

9. 申し込み

9月27日（月）17：00までに、「参加申込書」を統一メールで提出する。

正式なものは大会当日に提出する。

男子 小林伸一郎先生（市川中） kobayashi-cyqj@es-jhs.kai.ed.jp
女子 古屋 亮太先生（増穂中） furuya-vtvf@es-jhs.kai.ed.jp

10. その他

- ・ コート外でのボールを使った練習は禁止とする。また、利根川公園での車道でのアップも禁止とする。
- ・ 1日目が実施不可能な場合の連絡は、各校体育主任から連絡がある。2日目以降の実施可否については、専門部長が専門部の連絡網で各校に連絡する。（午前5時半過ぎ）
- ・ 賞状の枚数は、大8枚、小32枚。
大→団体戦1位～3位（4校×男女2）
小→個人戦1位～3位（4組×2人×男女2）
- ・ 昨年度優勝校
団体戦：男子 増穂中 女子 増穂中
個人戦：男子 増穂中 保坂・深澤組 女子 増穂中 秋山・深澤組
- ・ 優勝校は、優勝楯（団体戦）とトロフィー（個人戦）を当日持参する。
- ・ 大会当日は、開会式前8時00分より各コートを利用して練習を行っても良い。
- ・ 小中体連会計から、試合球4ダースを購入させていただく。
- ・ 県新人大会出場権
団体戦 男子：3校、女子：2校
個人戦 男子：9組（7組+増穂中1+身延中1）、女子：6組

試合前練習コート割

		Aコート	Bコート	Cコート	Dコート
女子	8:00~8:10	身延	増穂	市川	
	8:10~8:20	南部		鯉沢	
男子	8:00~8:10	増穂	鯉沢	市川	三珠
	8:10~8:20	身延	早川	六郷	南部

開会式

①はじめの言葉	②優勝盾・優勝トロフィーの返還	③会場長あいさつ
④競技上の注意	⑤諸連絡（会場使用上の注意等）	
⑥救護担当者の紹介とあいさつ	⑦終わりの言葉	

閉会式

①はじめの言葉	②成績発表	③表彰	④講評	⑤諸連絡
⑥終わりの言葉				

11. 感染症対策について

【生徒への徹底】

- ・朝、各学校で健康観察と検温の確認をする。※発熱や風邪の症状がある場合、会場に来ない。
- ・マスクは、練習や試合以外のときには必ず着用する。ただし、熱中症にならないように気をつける。
- ・食事をするときやトイレを利用するときは、前後に消毒や手洗いをを行う。

【試合】

- ・試合や審判に入る生徒は、試合前後に消毒を必ず行う。
- ・ハイタッチや握手は行わない。
- ・整列は、ネットから1m以上離れて行う。
- ・使用するベンチは毎回消毒をしてから使用する。

【応援】

- ・声を出しての応援は行わない。
- ・応援が密にならないよう、距離を取る。

令和3年度 峡南地区新人体育大会 剣道の部 実施要項

1. 主催 峡南教育研究協議会 山梨県小中学校体育連盟峡南支部
2. 主管 山梨県小中学校体育連盟峡南支部 剣道専門部
3. 日時 令和3年10月 7日(木曜日) ※雨天時は8日(金)に実施します。
午前 8時 30分 集合
午前 9時 00分 開会
4. 会場 増穂中学校 ふれあい体育館 (第二体育館)
5. 試合方法
◇男女団体戦・男女個人戦 ※混合チームをつくり団体戦も行う。
・組合せは専門部長及び各校顧問が事前に行ないます。
・試合は全日本剣道連盟試合規則によって、行います。
※今回は生徒審判による判断。各校、審判旗を3組用意すること。
◇団体戦(試合時間2分・3本勝負・勝者数、得本数が同数の場合は、任意による代表戦を行う)
・トーナメント戦を行う。
・チーム数は自由とする(但し学校代表は上位1チームとする)。
・男女共5名・補欠2名・監督1名とする。
・1チーム最低3名で構成する。(4名の場合は次鋒・3名の場合は次鋒副将を抜く)
・選手のオーダー変更は認めない。但し、補欠との交換は可。
◇個人戦(試合時間2分・3本勝負・勝敗が決しない場合、2分ごと時間を区切り延長戦を行う)
・トーナメント戦で行う。※3位決定戦はなし
6. 大会役員
会場長 小林達也 校長(増穂中学校)
会場責任者 米山 卓 (専門部長・増穂中学校)
救護担当 雨宮恭恵 (増穂中学校)
7. 参加資格 下記の項をすべて満たした者による。
・峡南地域の中学校生徒で、学校長が出場を承認した者。
・必要に応じ健康診断を受け、学校長から出場を許可された者。
・当該校の教職員の引率があること。
8. その他
◇垂れネーム、オーダー表の作成やその他細部については、「山梨県小中体連剣道専門部必携」の大会参加基準に準じます。
◇参加申込書とオーダー表は当日持参してください。
・オーダー表は県のものに準じて作成します。専門部長から各校へ、エクセルファイルのオーダー表を送りますので、作成して下さい。
(但し、対戦表作成の関係上、団体のチーム数・個人戦に参加する生徒の氏名(ふりがなつき)を**10月1日までに**米山までメールで報告してください)
※連絡先 増穂中学校 0556-22-2195
◇賞状 大2枚 小8枚

※コロナ対策…三密を避けるために、間隔を取って活動、休憩する。
館内は基本的にドアも窓も開放し、常時換気した状態とする。
手洗い、うがい、消毒をして館内に入出りする。
開閉会式は、学校ごと整列するが、マスクをつけ、縦横1～2m間隔を取り整列。
県剣連から通知された「面マスク」及び「シールド」を必ず着用することとする。
(面マスクは鼻までかくし着用。シールドは口元を覆う物を用意すること)

熱中症対策…延長戦などの場合、一度面を取って給水させることも考えられる
試合と試合の間には、十分な給水と換気の良い場所での休憩をおこなう

令和3年度峡南地区中学校新人体育大会 柔道の部 実施要項

1. 主催 峡南教育研究協議会
小中学校体育連盟峡南支部
2. 主管 山梨県小中学校体育連盟峡南支部 柔道専門部
3. 日時 令和3年 10月 7日(木曜日) 予備日8日(金)
午前 8時 30分 集合
午前 9時 00分 開会
4. 会場 身延地区武道館
5. 試合方法 ①2018年～2020年国際柔道連盟試合審判規定及び国内における「少年大会特別規定」及び本大会申し合わせ事項による。また全柔連が定める団体戦の勝敗決定を含める。ただし、関東中体連柔道部申し合わせ事項を優先する。
②個人戦のみを行う。
個人戦は、選手の総当たり戦をおこなう。
6. 大会役員 会場長 今村弘樹 校長 (身延中)
会場責任者 網野永一 (身延中)
救護担当 望月香絵美 (身延中)
7. 参加資格 下記の項をすべて満たした者による。
 - ・ 峡南地域の中学校生徒で、学校長が出場を承認した者。
 - ・ 必要に応じ健康診断を受け、学校長から出場を許可された者。
 - ・ 各校に該当の部があること。(または顧問教師がいること)
 - ・ 当該校の教職員の引率があること。
8. 審判員 身延町柔道連盟に、外部審判をお願いする。
9. その他
 - ・ 賞状の枚数 小3枚
 - ・ 新たに参加する選手がいる学校は事務局および専門部長に連絡をする。(専門部長から申込用紙を送付します)
 - ・ 事前に参加人数等の確認をする。
 - ・ 申し込み締め切り：10月1日 金曜日までに、指定の用紙にて申し込む。(メールにて送付)
 - ・ 公益財団法人全日本柔道連盟が作成した「新型コロナウイルス感染症対策と柔道練習・試合再開の指針」を遵守し、山梨県小中学校体育連盟「新型コロナウイルス感染症拡大防止ガイドライン」を選手および保護者に周知し、感染防止の措置を講ずる。

開会式

- 1, はじめの言葉
- 2, 会場長の話
- 3, 試合上の諸注意
- 4, 救護担当の紹介とあいさつ
- 5, おわりの言葉

閉会式

- 1, はじめの言葉
- 2, 成績発表
- 3, 賞状伝達
- 4, 講評
- 5, 諸連絡
- 6, おわりの言葉

令和3年度 峡南地区中学校バドミントン新人大会 実施要項

1. 主催 峡南教育研究協議会 山梨県小中学校体育連盟峡南支部
2. 主管 山梨県小中学校体育連盟峡南支部バドミントン専門部
3. 日時 令和3年10月7日(木) 予備日8日(金)
開場 7時45分 開会式 8時20分 試合開始 8時30分
4. 会場 鵜沢中学校体育館

5. 試合上・運営上の注意事項

- ① 現行の日本バドミントン協会競技規定ならびに大会運営規定による。
ただし、特に考慮する状況が生じたときは、大会独自のルールを設ける場合がある。
- ② 団体戦
 - ・2複1単(単複は兼ねられない)同一校選手5名以上7名以内、監督1名で1チームを編成する。
 - ・2試合を先取した時点で勝負を打ち切ることを原則とする。
- ③ 個人戦
 - 男女とも2年生の部(ダブルス・シングルス)、1年生の部(シングルスのみ)とする。
 - ・男女とも、トーナメント方式で行う。(3位決定戦は行わない)
 - ・シングルスとダブルスを同じ選手が兼ねて出場できる。ただし、ダブルス、シングルスとも同学年の部に参加すること。
 - ・上位学年への参加を認める。
- ④ 使用シャトル 第2種検定合格水鳥球3番(各校2ダース持参する)

6. 大会役員
- | | | |
|-------|-----------------|---------|
| 会場長 | <u>三澤 明生 校長</u> | (鵜沢中学校) |
| 会場責任者 | <u>佐野 文寛</u> | (身延中学校) |
| 救護担当 | <u>秋山 智子 先生</u> | (鵜沢中学校) |

7. 参加資格 下記の項をすべて満たした者による。
- ・ 峡南地域の中学校生徒で、学校長が出場を承認した者。
 - ・ 必要に応じて健康診断を受け、学校長から出場を許可された者。
 - ・ 自校のバドミントン部に所属していること。
 - ・ 自校の教職員の引率があること。

8. 申し込み 期日：令和2年9月30日(木) 17時
方法：別紙申込用紙に必要事項を記入し、男女別に申し込む。(増穂中望月先生へ)
職印のあるものは当日提出する。

9. 表彰 各種目とも3位まで行う。(参加校・参加人数によっては2位まで)

10. その他

- ・ 審判は生徒審判となるので、しっかりとできるように指導しておく。
- ・ 試合中は、着衣の背面に学校名を書いたゼッケン(横30cm、縦20cm)を必ずつけること。
- ・ ユニフォームの代わりとして、関東大会の記念Tシャツを着用することもできる。(1年生は場合によっては学校ジャージも可とする。)
- ・ 参加校は第2種検定合格水鳥球3番を2ダース持参する。

- ・選手宣誓は行わない。

1 1. 新型コロナウイルス感染予防対策について

《生徒への徹底》

- ・朝、各学校で健康観察と検温の確認をする。※熱や体調不良の生徒は会場に連れてこない。
- ・マスク、タオルを必ず持ってこさせる。マスクは、練習や試合以外は着用する。
- ・常時、会場内で密集を避けるよう指導する。

《練習・試合》

- ・練習では、1コート4人以内で練習をする。
- ・開会式は、選手を2m（最低1m）離して整列させる。
- ・ベンチには、顧問1名のみ座ることが出来る。
- ・試合前後の握手はしない。
- ・ラケット等、道具の貸し借りはしない。やむを得ず使用する場合は、使用前後にしっかりと消毒を行う。
- ・シャトルの受け渡しは、できるだけラケットを使用して行う。また、シャトルやシャトルに触れた手を顔に近づけないようにする。
- ・汗は、床などに落とさずタオルを使用して拭きとる。
- ・床の汗は、モップで拭きとる。

《座席・応援》

- ・観客席は、学校ごと指定し、イスを1つ以上開け密にならないようにする。
生徒は、座るところが決まったら1日固定して使用させる。
- ・観客席での応援は、座ったまま、大きな声を出さず、拍手のみとする。
- ・保護者は入場不可とする。（外部コーチが保護者の場合、申請して入場を可とする）

《会場》

- ・会場には消毒液を用意し、常時利用できるようにする。
- ・体育館は、換気した状態で大会を行う。
- ・大会前、大会当日の昼休みに、ポールやイスなどを消毒する。
- ・定期的に手洗い、消毒をするようにアナウンスする。
- ・昼食は外か割り当てられた場所で食べることを基本とする。（雨天時は屋内で密にならないよう注意する。）

1 2. 賞状 団体戦用：大4枚 個人戦用：小36枚

令和3年度 峡南地区中学校新人体育大会<弓道の部>実施要項

- 1 主催 峡南教育研究協議会 小中学校体育連盟峡南支部
 2 主管 小中学校体育連盟峡南支部弓道専門部
 3 日時 令和3年10月7日(木) ※雨天順延
 午前8時集合 8時30分開会 12時閉会 12時15分散会予定
 4 会場 富士川町 殿原スポーツ公園弓道場
 5 試合方法
 ■団体戦 1人8射 チームの総的中数の平均により勝敗を決する。
 ■個人戦 1人8射の的中数により勝敗を決する。
 (団体戦に出場した結果を個人の成績に読み替える。)
 6 競技の進行・役割分担
 ■記録 ⇒ 待機 ⇒ 射 ⇒ 矢取り ※記録は生徒が行う。
 7 大会役員
 ○会場長 小林達也 校長先生 (増穂中学校)
 ○救護担当 雨宮恭恵 養護教諭 (増穂中学校)
 ○会場責任者 平林祐樹 教諭 (増穂中学校)
 8 参加資格
 ○峡南地域の中学校生徒で、学校長が出場を承認した者。
 9 服装・持ち物
 選手：弓道着・かけ・矢・替え弦・たび・その他試合に必要なもの
 ※弓道着がない人は、体育着で白靴下を着用する。
 その他：弓・的・合串・雑巾・ギリ粉・フデ粉・道具箱・記録用紙
 全員：水筒・雨具(傘)・タオル・ごみ袋

- 10 表彰
 ○団体：1位に賞状を授与
 ○個人：上位3名に賞状を授与 ※賞状合計8枚(大2枚・普通6枚)

- 11 新型コロナ感染予防対策・熱中症対策
 ※消毒液を準備するので、集合時や休憩時、矢とり時等に、手指の消毒をする。
 ※射場に入る選手以外は、マスクを常に着用する。
 ※応援は声を出さず、拍手で行う。密にならないように分散して見学する。
 ※1時間ごとに休憩時間を設け、給水を行い、熱中症対策をとる。
 ※無観客(保護者等の観戦はできません)で行う。

- 12 注意事項
 ② 当日欠席・遅刻する場合は、7時30～45分に学校(22-2195)へ連絡をしてもらう。
 ② 競技の進行上の役割に責任を持って行う。 ③ 会場で出たゴミは持ち帰る。
 ④ 自転車は並べて置く。 ⑤ 車で送迎をってもらう場合は、駐車場で乗降をする。
 ⑥ 大会に不要なものを持ってこない。(カメラ・携帯・音楽プレーヤー・マンガ・ゲーム)

13 立ち順と役割分担

チーム	1	2	3	補助	矢取	記録
A				永井 湊太	E	C
B				飯久保 亨	F	D
C				井上 若葉	A	E
D				中込 彩巴	B	F
E				井上 若葉	C	A
F				山形 早愛	D	B

14 開会式・閉会式次第

開会式	司会(櫻井 朱乃)
1. はじめの言葉(伊藤 慎太郎)	
2. 会場挨拶()先生	
3. 救護(雨宮先生)の紹介	
4. 競技について(平林祐樹先生)	
5. 諸連絡	
6. 部長挨拶(上田 悠佑部長)	
7. おわりの言葉(西澤 遥人)	

閉会式	司会(佐野 百葉)
1. はじめの言葉(村田 真唯)	
2. 結果発表()先生	
3. 表彰()先生	
4. 講評()先生	
5. 諸連絡	
6. おわりの言葉(山形 綾音)	

峡南地区教育内大会運営における 悪天候等に関わる申し合わせ事項

大会開催中に、大雨・強風・台風・落雷等の影響が予想される場合は、以下のこととする。なお、正副支部長及び理事長、各会場においては会場長、専門部長、各校引率者の協議にて決定する。

- ① 競技者・競技役員・補助員及び観覧者の安全を第一優先として考える。
- ② 安全が確保されない場合には、順延をせず、中止もありえる。
- ③ 競技日程を変更することもある。
- ④ 雷雨の場合は、競技を中断することもある。
- ⑤ 風雨のため危険が予想される場合は、テント・横断幕の設置は行わない。
- ⑥ 雷鳴が聞こえた場合、直ちに活動を中止し、参加者（選手・監督、役員、観戦者）を安全な場所に避難させるとともに、20分間は活動をせず安全を確認する。
- ⑦ 天候が悪化した場合は、正副支部長及び理事長、各会場においては会場長、専門部長、各校引率者と協議する。その結果はアナウンスにて全競技役員、競技者、観客に伝える。

参考

行事の開催における落雷事故の防止について — 関東中学校体育連盟 —

1 基本方針

- (1) 落雷に関しては、現場における迅速な対応が求められるので、競技委員長の判断により適切な対応をとることとする。
- (2) 落雷の予兆があった場合は、屋外での活動は直ちに中止し、危険性がなくなると判断されるまで、参加者を安全な場所に避難させる。
- (3) 2における活動には、式典や試合だけでなく、終了後の参加者の移動や帰宅も含むものとする。

2 落雷の予見及び行事の中止について

- (1) 事前の天気予報を確認し、気象情報を把握しておく。
- (2) 雷鳴が聞こえた場合、直ちに活動を中止し、参加者（選手・監督、役員、観戦者）を安全な場所に避難させる。
- (3) 雷鳴が聞こえなくなった後、20分間は活動をせず安全を確認する。

3 避難場所について

- (1) 参加者を避難させる安全な場所については、具体名を示し、場所を限定する。
- (2) 「安全な場所」とは、自動車、バス、列車、鉄筋コンクリート建築の内部を指す。
- (3) 本格的な木造建築の内部も安全であるが、テントやトタン屋根の小屋等は屋外と同様に落雷の被害を受ける危険性がある。
- (4) 軒先への避難は、表皮効果（建物の外側は電流が流れやすい）により危険であり、避難させてはならない。
- (5) 樹木の下は落雷を受けやすいため避難させてはならない。

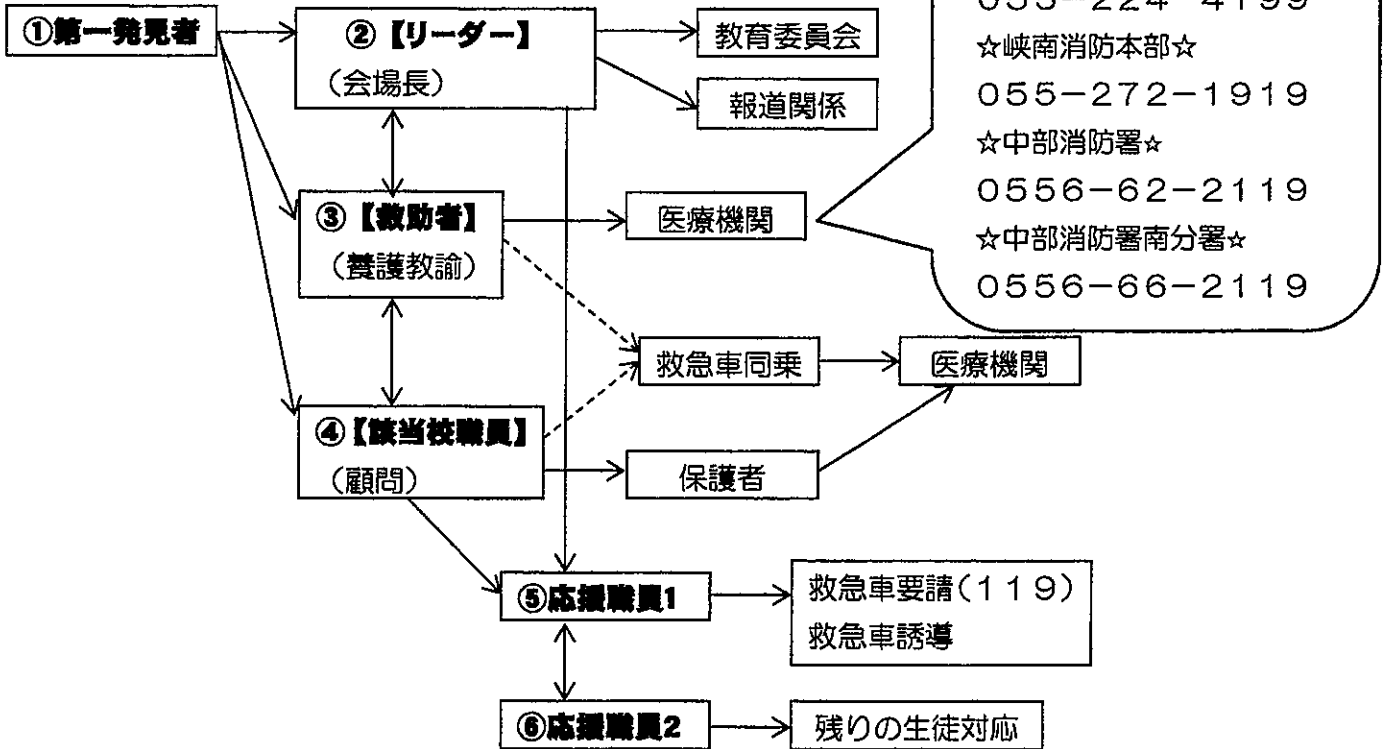
4 その他

- (1) 屋内の行事についても、落雷により終了後の参加者の移動や帰宅において、その安全が確保されないと判断される場合は、屋内にとどまらせるなどの処置をとる。
- (2) 避難場所が確保されない会場での行事の実施は計画してはならない。

傷病時の緊急体制

- 「大会中の事故」「食中毒」「不測の事態」等、緊急の傷病生徒がいる場合の対応
- 必ず、時系列で「記録」を行う。

☆緊急体制（防犯・防災マニュアルより）☆



☆緊急時役割分担☆

事故・事件発生 【第1発見者】

- ① 病者の応急手当、生徒の保護
- ② 管理職・救助者への連絡（救援依頼）

事故・事件現場へ急行 【会場長・救助者（養護教諭）】

- ① 生徒の保護 → 応援の要請
- ② 傷病者の保護・救護 → 病院へ搬送
- ③ 事態の確認・連絡・記録

救急体制の指示 【会場長】

- ① 職員の招集
- ② 教職員の役割分担の確認
- ③ 外部との連絡・対応

救急車要請【応援職員1】

- ① 救急車要請
- ② 救急車誘導

他の生徒への対応【応援職員2】

- ① 現場から移動（救急車へ乗るところを見せない）
- ② 授業再開
- ③ 報道関係者との接触をさせない

☆救急車の呼び方☆

- ①【場所： 】です。
救急車をお願いします。
- ②人数（ ）人です。
- ③傷病の状況について（学年）（性別）が（どんな）けが・病気です。
- ④原因（いつ）（どこで）（どうなった）（どうなった）です。
- ⑤今（ ）の対応をしています。

緊急時対応記録

① いつ

② どこで

③ 何が起きたか

④ 傷病者は

⑤ 報告者は

事情調査と記録について

- ①時系列で記録
- ②正確な内容（事実と推察の区別。不明は「？」を記入）
- ③箇条書きで簡潔な文
- ④重要な箇所にはアンダーライン
- ⑤情報源を明記
- ⑥必要に応じて写真撮影
- ⑦プライバシーに配慮

☆救急問い合わせ 医療機関☆

関係機関	詳細	連絡先
県救急情報センター	救急問い合わせ	055-224-4199
峡南消防本部	救急問い合わせ	055-272-1919
富士川病院	AM 8:15~11:20受付 PM 電話確認	0556-22-3135
峡南病院	AM 8:30~12:00 PM 3:30~4:30 (平日)	0556-22-4411
飯富病院	AM 9:00~12:00 PM 2:00~5:00	0556-42-2322
身延山病院	AM 8:30~11:30 PM 3:30~4:00	0556-62-1061

峡南地区新人体育大会 開催・実施時の感染防止策チェックリスト (生徒・保護者向け)

参加生徒が遵守すべき事項(守るべきこと)

- 以下のことに当てはまる生徒は、参加ができません
 - 体調がよくない場合(例:発熱・せきなどの症状がある場合)
 - 家族や身近な知人に感染がうつがわれる方がいる場合
 - 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
 - 保護者参加同意書の提出がない場合
- マスクを持参すること(参加受付時や着替え時等の運動・スポーツを行っていない際や会話をする際にはマスクを着用すること)
- こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること
- 他の参加生徒、大会役員等との距離(できるだけ2m以上)を確保すること
- 大会中に大きな声で会話、応援等をしないこと
- 感染防止のために主催者が決めたその他の措置の遵守、主催者の指示に従うこと
- 大会(試合)終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、学校や顧問等に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること
- 大会(試合)の前後のミーティング等においても、三つの密(密閉・密集・密接)を避けること

参加生徒が運動・スポーツを行う際の留意点

- 十分な距離の確保
 - 運動・スポーツの種類に関わらず、運動・スポーツをしていない間も含め、感染予防の観点から、周囲の人となるべく距離(※)を空けること
 - 強度が高い運動・スポーツの場合は、呼気が激しくなるため、より一層距離を空けること
 - マスクをしていない場合には、十分な距離を空けるよう特に留意すること(※)感染予防の観点からは、少なくとも2mの距離を空けることが適当である。
- 位置取り:走る・歩く等の運動においては、前の人の呼気の影響を避けるため、可能であれば前後一直線に並ぶのではなく、並走する、あるいは斜め後方に位置取ること
- 運動・スポーツ中に、唾や痰をはくことは極力行わないこと
- タオルの共用はしないこと
- 飲食については、指定場所以外で行わず、周囲の人となるべく距離を取って対面を避け、会話は控えめにすること
- 回し飲みはしないこと
- 飲みきれなかったスポーツドリンク等を指定場所以外(例えば走路上)に捨てないこと

令和3年度 峡南地区中学校新人体育大会 保護者 参加同意書

【大会参加にあたっての同意事項】

■峡南地区新人体育大会 開催・実施時の感染防止策チェックリスト(生徒・保護者向け)の「参加者が遵守すべき事項 (守るべきこと)」と「参加者が運動・スポーツを行う際の留意点について」を参加生徒(お子様)と事前に確認しました。 <裏面をご確認ください。>

■参加生徒(お子様)の参加前2週間における,以下の事項の有無について確認しました。

- ・平熱を超える発熱(おおむね 37 度5分以上)はない。
- ・咳(せき), のどの痛みなど風邪の症状はない。
- ・だるさ(倦怠(けんたい)感), 息苦しさ(呼吸困難)はない。
- ・嗅覚や味覚の異常はない。
- ・体が重く感じる, 疲れやすい等の症状はない。
- ・新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触はない。
- ・同居家族や身近な知人に感染が疑われる方はいない。
- ・過去 14 日以内に政府から入国制限, 入国後の観察期間を必要とされている国, 地域等への渡航又は 当該在住者との濃厚接触はない。

■状況により,保護者ご記入欄に署名した保護者に連絡し,確認を行います。

大会参加にあたり,上記の内容に同意いたします。
(※同意いただける方は, にチェックを入れてください。)

令和3年 月 日

【保護者ご記入欄】

- ① 中学校名 : [_____] 中学校
- ② 学 年 : [第 _____] 学年
- ③ 参加種目 : [_____]
- ④ 生徒氏名 : [_____]
- ⑤ 保護者氏名 : [_____] 印
- ⑥ 保護者住所 : [〒 _____]
- ⑦ 保護者電話番号 : [_____]

※緊急時の連絡先として用いることがありますので,日中,連絡が繋がりにくい番号をご選定ください。

- ⑧ 当日朝の体温 : [_____] ℃

健康チェックシート

本健康チェックシートは、山梨県小中学校体育連盟が開催する各種教育内大会において新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するため、参加者の健康状態を確認することを目的としています。

本健康チェックシートに記入いただいた個人情報について、山梨県小中学校体育連盟は、厳正なる管理のもとに保管し、チーム関係者の健康状態の把握、来場可否の判断および必要なご連絡のためにのみ利用します。また、個人情報保護法等の法令において認められる場合を除きご本人の同意を得ずに第三者に提供いたしません。但し、大会会場にて感染症患者またはその疑いのある方が発見された場合に必要な範囲で保健所等に提供することがあります。

ご理解とご協力をお願いいたします。

＜基本情報＞

学校名		職種	校長 ・ 教頭 教員（教諭・養護教諭・講師） 外部指導者・部活動指導員
氏名			その他（ ）

＜大会前2週間における健康状態＞ ※該当するものに「✓」を記入してください。

チェック項目	チェック欄
① 平熱を超える発熱がない	
② 咳（せき）、のどの痛みなどの 風邪症状がない	
③ だるさ（倦怠感）、息苦しさ（呼吸困難）がない	
④ 臭覚や味覚の異常がない	
⑤ 体が重く感じる、疲れやすい等がない	
⑥ 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触がない	
⑦ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいない	
⑧ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間が必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がない	
⑨ その他、気になること（以下に自由記述）	

会場入場前の検温

℃

確認日 西暦 年 月 日

山梨県小中学校体育連盟

専門部

会場